

日本福祉心理学会第 24 回大会（第 2 号通信）

つなぐ実践としての福祉心理学 ～当事者・制度・専門を結び、生活を支える～

会期：2026 年 8 月 8 日（土）～9 日（日）
会場：慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎（らいおうしゃ）
住所：神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1
主催：日本福祉心理学会
後援：慶應義塾協生環境推進室、慶應義塾大学教養研究センター
大会長：中野 泰志（慶應義塾大学）

■最寄り駅：日吉駅

（東急東横線、東急目黒線、東急新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン）

※新横浜駅から（東急新横浜線）：約 6 分

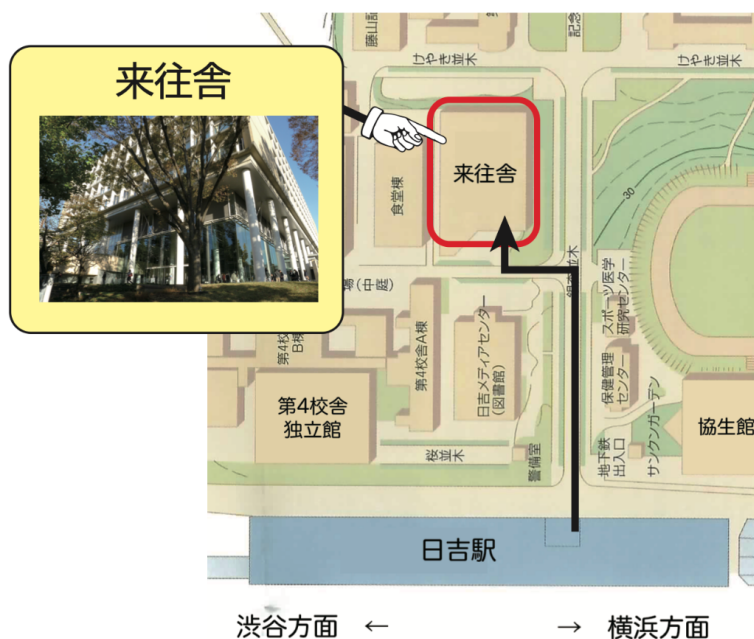
※横浜駅から（東急東横線）：約 20 分（急行約 15 分）

※渋谷駅から（東急東横線）：約 27 分（急行約 20 分）

※目黒駅から（東急目黒線）：約 26 分（急行約 20 分）

★大会期間中、大学の駐車場は利用出来ないため、車でのご来場はご遠慮ください。最も近い駐車場は日吉東急駐車場（<https://www.tokyu-dept.co.jp/hiyoshi/access/index.html>）です。

■会場地図



ご挨拶

現代社会は、国際情勢の不安定化や紛争、経済格差の拡大など、先行きの見通しが困難な状況にあります。こうした世界的な変動は、人々の生活基盤や心理的安定にも大きな影響を及ぼしており、私たちは複雑で不確実な時代に生きています。また、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（DEI）をめぐる価値観も国際的に揺らぎを見せており、共生社会の実現に向けた理念や実践のあり方が改めて問われています。このような状況の中で、一人ひとりの well-being を実現していくためには、社会に存在する多様な資源を活用し生活を支えるという社会福祉学の視点と、個人の心理的状态や経験に寄り添った支援を行う心理学の視点の双方からアプローチする福祉心理学の役割が、これまで以上に重要となっています。

2006 年に採択された国連の障害者権利条約は、障害を個人の属性としてではなく、社会との相互作用の中で生じるものとして捉え、権利保障と社会参加の実現を強く求めました。また、日本においても障害者差別解消法の改正により、合理的配慮の提供が義務化されるなど、制度的整備は大きく前進しています。これらは、SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とも軌を一にするものです。

しかしながら、制度の整備が進む一方で、それが当事者の生活の中でどのように実感され、具体的な支援として機能しているのかという点には、なお多くの課題が残されています。制度、専門職、地域社会、そして当事者の経験が必ずしも十分に結びついていない現状は、私たちが取り組むべき重要な課題です。

福祉心理学は、こうした分断を乗り越え、人と人との関係性や生活の文脈に根ざした実践を通して、当事者・制度・専門を結び直す役割を担う学問領域です。支援を一方的に提供するのではなく、多様な主体が対話を重ねながら関係性を構築し、生活を支える実践を共に創り上げていくことが求められています。

本大会では、「つなぐ実践としての福祉心理学～当事者・制度・専門を結び、生活を支える～」をテーマに掲げました。本テーマには、分断されがちな諸要素をつなぎ直し、当事者の生活に根ざした支援のあり方を再考したいという願いが込められています。本大会が、福祉心理学の理論と実践のさらなる発展に寄与するとともに、多様な立場の参加者が相互に学び合い、新たな連携と実践の創出につながる場となることを心より期待しております。

最後になりますが、例年 12 月の開催に馴染んでおられる皆様には、こちらの都合により開催時期が変更となりましたことを深くお詫び申し上げます。当日はあいにくの暑い盛りの開催とはなりますが、本大会のテーマである「つなぐ実践」にふさわしい活発な交流の場をご用意して、皆様を最大限に歓迎したいと考えております。実行委員会一同、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

日本福祉心理学会第24回大会実行委員会
委員長 中野 泰志

■プログラム

第1日目（8月8日〔土〕）

9時00分～ 受付開始 < 1階シンポジウムスペース前 >

9時30分～10時00分 **各種委員会** < 2階大会議室、中会議室 >

10時00分～11時00分 **理事会** < 2階大会議室 >

11時00分～11時10分 休憩・移動

11時10分～12時00分 **総会** < 1階シンポジウムスペース >

12時00分～13時00分 昼食・休憩（会場での食事も可能です）

13時00分～13時15分 **開会式** < 1階シンポジウムスペース >

13時15分～14時15分 **記念講演** < 1階シンポジウムスペース > 一般公開

**精神障害当事者の視点から専門職の支援を問い直す
—「つなぐ実践」としての支援関係を考える—**

演者：山田 悠平（一般社団法人精神障害当事者会ポルケ）

14時15分～14時25分 休憩

14時25分～15時55分 **シンポジウム①**

・ **実行委員会企画シンポジウム①** < 1階シンポジウムスペース > 一般公開

障害のある学生の支援における福祉心理学の役割

企画・司会：中野 泰志（慶應義塾大学）

話題提供1：近藤 武夫（東京大学先端科学技術研究センター）

話題提供2：青木 千帆子（筑波技術大学）

話題提供3：柏倉 秀克（桜花学園大学）

指定討論：飯野 由里子（東京大学）

・ **自主シンポジウム①** < 2階大会議室 >

声を聴くことから始まる支援

—福岡・警固公園での夜回り活動と「まちの保健室」の実践から—

企画：大西 良（筑紫女学園大学）

司会：占部 尊士（西九州大学）

報告：大西 良（筑紫女学園大学）

コメンテーター：大迫 秀樹（福岡女学院大学）

15時55分～16時10分 休憩・移動

16時10分～17時40分 シンポジウム②

・ **実行委員会企画シンポジウム②** < 1 階シンポジウムスペース > 一般公開

当事者・制度・専門職を結び、生活を支えるためのリンクワーク

企画・司会：中野 泰志（慶應義塾大学）

話題提供 1：吉泉 豊晴（日本視覚障害者団体連合）

話題提供 2：梶村 雅文（京都悠仁福祉会 京都認知症総合センター）

話題提供 3：堀田 聡子（慶應義塾大学大学院）

指定討論：宮内 久絵（筑波大学）

・ **自主シンポジウム②** < 2 階大会議室 >

支援につながりにくい子どもと家庭にどう届くか

—保育・教育・福祉をつなぐ家族支援の課題と可能性—

企画・司会：石田 祥代（千葉大学）

話題提供 1：藤後 悦子（東京未来大学）

話題提供 2：ヘイスカ佳代

話題提供 3：チャンゴックチャミー

指定討論：野澤 純子（國學院大学）

17時40分～18時00分 休憩・移動

18時00分～20時00分 **情報交換会** < 1 階ファカルティラウンジ > 要予約

第 2 日目（8 月 9 日 [日]）

9時15分～ 受付開始 < 1 階シンポジウムスペース前 >

9時30分～10時30分 **研究発表 1：ポスター発表** < 1 階シンポジウムスペース >

1. **支援につながりにくい家庭を包摂する地域資源としての図書館—保育所等における家庭支援向上プログラムの開発に向けた探索的検討—**

藤後 悦子（東京未来大学）・野澤 純子（國學院大学）・
石田 祥代（千葉大学）

2. **母子生活支援施設における心理支援業務構築に関する研究—全国実態調査の再分析から見た現状と課題—**

木元 卓也（宇部フロンティア大学）

3. **学生はなぜ図書館を利用するのか—短大付属図書館の「寄り添うサービス」に関する事例から—**

荒谷 容子（岩国短期大学）

4. 地域・在宅看護学実習カンファレンスにおける教育実践の意義—経験の意味づけを支える振り返りと教員のかかわりに着目して—
入江 多津子（SBC東京医療大学）・諏訪免 典子（SBC東京医療大学）
5. インターネットニュースにおける著名人自殺報道の分析—2022年5月11日に配信された記事を対象として—
藤原 幸子（九州医療科学大学）
6. 児童虐待通告に奔走するソーシャルワーカーの日常を描く—児童相談所のオートエスノグラフィー—
大原 天青（東京都小平児童相談所）
7. 肢体不自由特別支援学校の児童生徒への教育活動に対する教員の捉え方
松山 郁夫（鎮西学院大学）
8. 小・中学生のデジタルメディア使用が睡眠習慣およびメンタルヘルスに及ぼす影響
大西 良（筑紫女学園大学）
9. 児童家庭支援センターにおける乳児院・児童養護施設と連携した福祉心理学的な地域支援の研究（1）—施設長・相談支援員に対するアンケート調査から—
大迫 秀樹（福岡女学院大学）・白澤 早苗（福岡女学院大学）
10. 青年期に移行対象を所持する人の特徴について—母子関係との関連に着目して—
紀平 あきら（暁学園）・山崎 康一郎（日本福祉大学）・
荒屋 昌弘（大阪人間科学大学）
11. 我が国のソーシャルワークにおける“曖昧さへの対処（tolerance for ambiguity）”に関する文献研究—曖昧さが支援にもたらす影響に焦点を当てて—
大部 令絵（日本社会事業大学）
12. 多職種・地域を繋ぐ「ケアカフェ」ソーシャルワーカー発信バージョンの試行—心理的安全性に基づく「響き合い」から揺れ動く紐帯（ちゅうたい）の形成へ—
山田 裕一（立命館大学生存学研究所）

10時30分～12時00分 福祉心理士会・研修会 < 2階大会議室 >

つなぐ実践者としての福祉心理士の基盤

1. 当事者・制度・専門を結び、生活を支えるための福祉心理学の展望
柏女 霊峰（淑徳大学名誉教授）
2. 福祉心理士が持つべき矜持とはなにか
金城 悟（東京家政大学）

3. 福祉心理士が持つべき福祉の専門性の基盤とはなにか

米川 和雄（名古屋市立大学大学院）

12時00分～13時00分 昼食・休憩

・福祉心理士会第12回全国大会総会 ＜2階大会議室＞

13時00分～14時30分 学会企画シンポジウム ＜1階シンポジウムスペース＞

社会的養護における子どもの声をつなぐ

—子どもの最善の利益を実現する生活と支援の創出に向けて—

企画・司会：日本福祉心理学会研究 研修推進委員会（井出 智博・大原 天青）

話題提供1：永野 咲（武蔵野大学）

話題提供2：勇生（IFCAユース）

話題提供3：加藤 里菜（子供の家ユースベース）

指定討論：大迫 秀樹（福岡女学院大学／日本福祉心理学会常任理事）

14時30分～14時40分 移動・休憩

14時40分～15時55分 研究発表2：口頭発表 ＜1階シンポジウムスペース＞

1. 福祉心理学における実践と研究の循環を目指して—多様化する福祉課題への取り組みを提示した公開研修会の実践報告—

占部 尊士（西九州大学）・大迫 秀樹（福岡女学院大学）・

大西 良（筑紫女学園大学）・鍋内 哲朗（国際医療福祉大学）

2. ホームレス・生活困窮者支援の現場における心理教育的支援の意義—民間支援団体Aにおける勉強会での発表場面の分析と考察—

白井 朋世（創価大学大学院）

3. 病院見学プログラムを活用した医療ソーシャルワーカー理解のための初年次教育の検討—病院見学プログラムを経験した医療ソーシャルワーカーへのインタビュー調査を通して—

鍋内 哲朗（国際医療福祉大学）・占部 尊士（西九州大学）

4. 重症心身障害児を介護した母親の心理的危機に関する語り—介護殺人防止に向けた支援課題の計量テキスト分析—

宮元 預羽（湘南医療大学）

5. 福祉心理専門職養成におけるストーリー教材の活用—「福祉サービスの組織と経営」に対する理解促進と学習動機に着目して—

大久保 圭介（群馬医療福祉大学）

15時55分～16時00分 閉会式 ＜1階シンポジウムスペース＞

■タイムテーブル

第1日目 8月8日(土)

時間	受付	1階・シンポジウムスペース	2階・大会議室	2階・中会議室
9時	1 階・ シン ポジ ウム ス ペ ー ス 前 （ 9 時 か ら 1 7 時 ）	休憩・自由討論会場	休憩・自由討論会場	休憩・自由討論会場
		ポスター貼付開始	各種委員会（9:30～）	各種委員会（9:30～）
10時		休憩・自由討論会場	理事会	休憩・自由討論会場
11時		総会（11:10～）	休憩・自由討論会場	休憩・自由討論会場
12時		昼食・休憩（シンポジウムスペースではポスターの閲覧可）		
13時		開会式（13:00～13:15）	休憩・自由討論会場	
		記念公演（13:15～14:15） 精神障害当事者の視点から 専門職の支援を問い直す		
14時		移動・休憩		
		実行委員会企画 シンポジウム① （14:25～15:55） 障害のある学生の 支援における 福祉心理学の役割	自主シンポジウム① （14:25～15:55） 声を聴くことから 始まる支援	
15時		移動・休憩		
16時	実行委員会企画 シンポジウム② （16:10～17:40）	自主シンポジウム② （16:10～17:40）		
17時		当事者・制度・専門職を 結び、生活を支えるための リンクワーク	支援につながりにくい 子どもと家庭にどう届くか	
		移動・休憩		

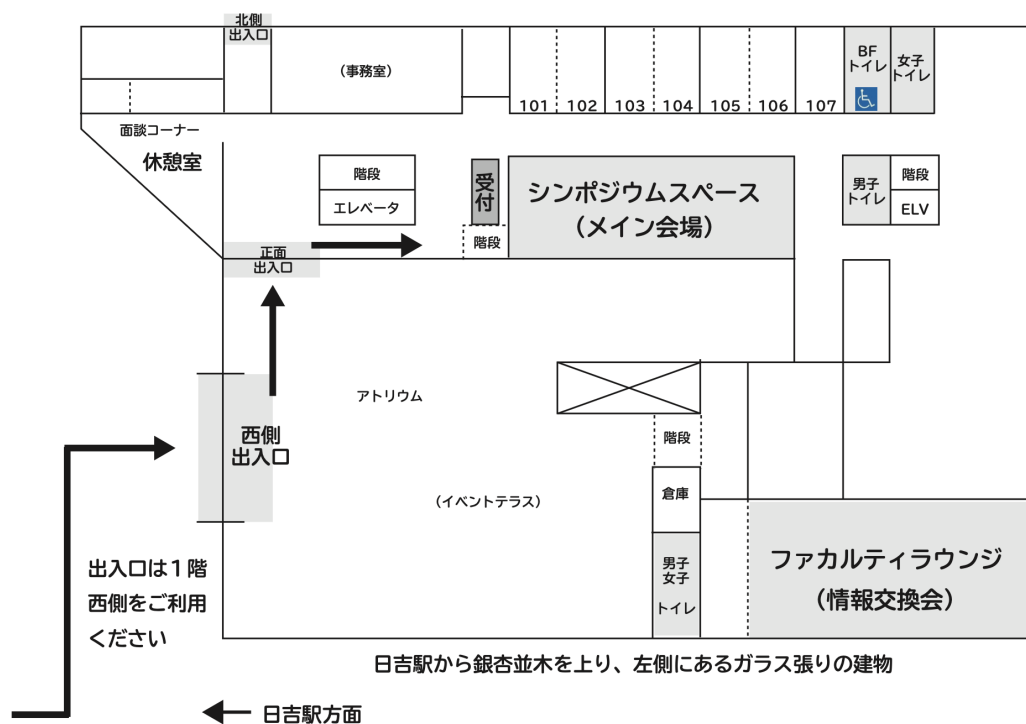
*情報交換会(18:00～20:00) 1階・ファカルティラウンジ(来往舎内)

第2日目 8月9日（日）

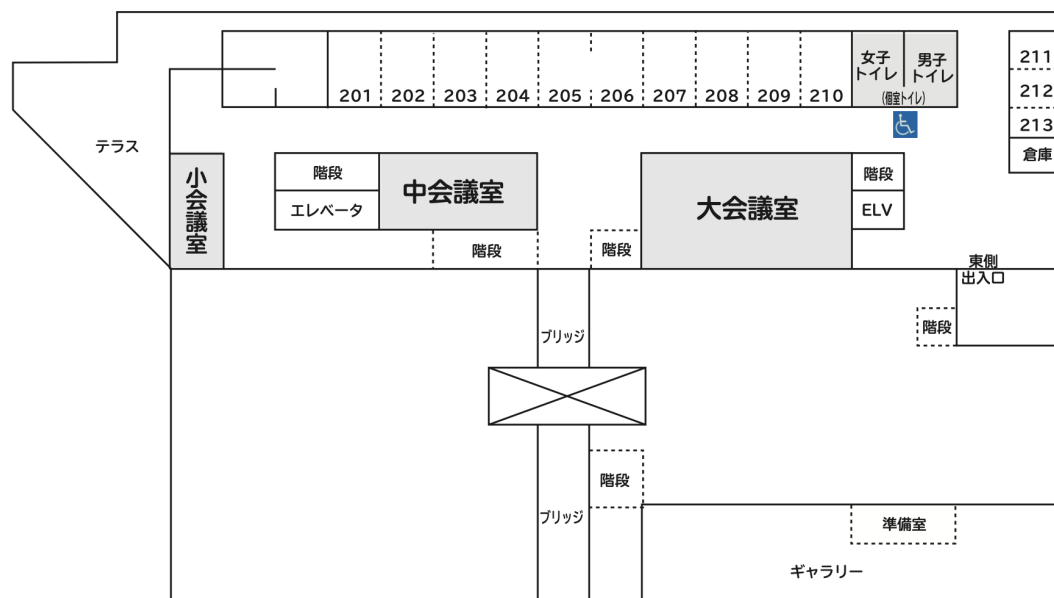
時間	受付	1階・シンポジウムスペース	2階・大会議室
9時	9時15分開場		
	1階・シンポジウムスペース前（9時15分から15時）	ポスター貼付 (9:15～9:30)	休憩・自由討論会場
		研究発表1：ポスター発表 奇数番号：9:30～10:00 偶数番号：10:00～10:30	
10時			福祉心理士会・研修会 (10:30～12:00)
11時		休憩・自由討論会場	
12時		昼食・休憩	
		休憩・自由討論会場	福祉心理士会 第12回全国大会総会 (12:00～13:00)
13時		学会企画シンポジウム (13:00～14:30) 社会的養護における子どもの声をつなぐ	
14時		移動・休憩	
15時	研究発表2：口頭発表 (14:40～15:55)		
16時	閉会式（15:55～16:00）		

■会場

(1) 来往舎1階のフロアマップ



(2) 来往舎2階のフロアマップ



■キャンパスマップ



<食堂・コンビニ> キャンパス内で利用可能な食堂等。

- * 食堂棟：1 階「遊遊キッチン」、2 階「グリーンズマルシェ」（土のみ）
- * 協生館：1 階「HUB 慶應日吉店」、「タリーズ」、「ローソン」（土日）
- * 藤山記念館：1 階「È PRONTO」（土のみ）

<自動販売機>

- * 食堂棟 1 階に各種自動販売機が設置されています。

大会参加者へのご案内

■受付

場所：来往舎 1階シンポジウムスペース

時間：8月8日（土）9時00分～17時00分

8月9日（日）9時15分～15時00分

- ・大会参加者は、必ず最初に受付にお越しください。受付時に参加証とネームホルダーをお渡しします。会場では必ず着用してください。なお、お帰りの際には、ネームホルダーを受付にお返しください。

■抄録集

本大会の抄録集は、受付時に一人一冊、お渡しいたします。そのため、必ず、受付にお立ち寄りください。なお、障害により、紙媒体の抄録集にアクセスできない場合には、アクセシブルなデータをご用意いたします。第24回大会事務局にメール（janphs2026-group@keio.jp）でお申し込みください。

■昼食・飲食

昼食は各自でご用意ください。会場は飲食可能なので、お弁当や飲み物等を持ち込んでいただくことが可能です。また、キャンパス内にコンビニや飲食店（協生館のローソン、タリーズコーヒー、英国風パブ HUB は土日とも営業予定、来往舎1階のファカルティラウンジ、藤山記念館1階「È PRONTO」、食堂棟1階「遊遊キッチン」、2階「グリーンズマルシェ」は土曜日のみ営業予定）があります。その他、日吉駅周辺には、日吉東急の食品売り場をはじめ、飲食店が多数ありますので、ご利用ください。

■情報交換会（懇親会）

日時：8月8日（土）18時00分～20時00分

場所：来往舎 1階ファカルティラウンジ（要予約）

■インターネット（無線 LAN）

キャンパス内では eduroam が利用可能です。また、学会期間中、専用の Wi-Fi がご利用いただけます。SSID 等は以下の通りです。

無線 LAN への接続に必要な SSID 等

SSID : JANPHS

パスワード : keio2026

■駐車場

大会期間中、大学の駐車場は利用出来ないため、車でのご来場はご遠慮ください。日吉東急駐車場（<https://www.tokyu-dept.co.jp/hiyoshi/access/index.html>）が最も近い民間の駐車場です。



■ゴミについて

キャンパス内にゴミ箱は設置されていますが、可能な限り、お持ち帰りにご協力くださいますようお願いいたします。なお、キャンパス内のゴミ箱を利用される際には、分別にご協力ください。

■喫煙について

本キャンパスは、全面禁煙です。また、キャンパス周辺での喫煙もご遠慮ください。

■その他

クロークのご用意はありませんので、荷物は、それぞれで管理をお願いいたします。なお、受付で、一時預かりをいたします。

記念講演・シンポジウム・研修会に関するご案内

■会場について

記念講演、実行委員会企画シンポジウム、自主シンポジウム、学会企画シンポジウムの日時と会場は以下の通りです。

日時	内容	場所
8月8日 13時15分～14時15分	記念講演	1階・シンポジウムスペース
8月8日 14時25分～15時55分	委員会企画シンポジウム①	1階・シンポジウムスペース
	自主シンポジウム①	2階・大会議室
8月8日 16時10分～17時40分	委員会企画シンポジウム②	1階・シンポジウムスペース
	自主シンポジウム②	2階・大会議室
8月9日 10時30分～12時00分	福祉心理士会・研修会	2階・大会議室
8月9日 13時00分～14時30分	学会企画シンポジウム	1階・シンポジウムスペース

会場には、マイク、スクリーン、プロジェクターのご用意があります。ただし、パソコンは設置してありませんので、ご利用の場合にはご持参ください。

■時間管理について

記念講演等の企画者は、それぞれ進行を含めた時間管理をお願いいたします。

■持参パソコンとプロジェクターの接続について

会場では、パソコンとプロジェクターとの接続に「HDMI 接続」を採用しております。発表時の機材トラブルによる進行遅延を防ぐため、以下の点について事前にご確認とご準備をお願いいたします。

- ・**HDMI 出力端子の確認**：ご持参いただくパソコンに標準サイズの HDMI 出力端子が搭載されているか、必ず事前にご確認ください。
- ・**変換アダプターのご持参**：HDMI 端子が搭載されていないパソコンをご使用の場合は、ご自身のパソコンに適合する変換アダプターを必ずご自身でご持参ください。
- ・**事前の動作確認のお願い**：セッション開始前の休憩時間等を利用し、各会場にて、実際に画面が正しく出力されるか事前接続テストを行っていただきますようご協力をお願いいたします。

ポスター発表・発表者へのご案内

■ポスター展示について

- ・在席時間：第2日目（8月9日）9時30分～10時30分
- ・場所：1階・シンポジウムスペース
- ・貼付締切：第2日目（8月9日）9時30分までに指定の場所に貼付してください。
- ・早期希望展示：ポスターの貼付は第1日目（8月8日）9時30分から可能です。
休憩時間に閲覧できるようにしますので、希望者は早期貼付をお願いします。
- ・撤去のお願い：第2日目（8月9日）の12時45分までにお願いします。

■発表（討論）時間について

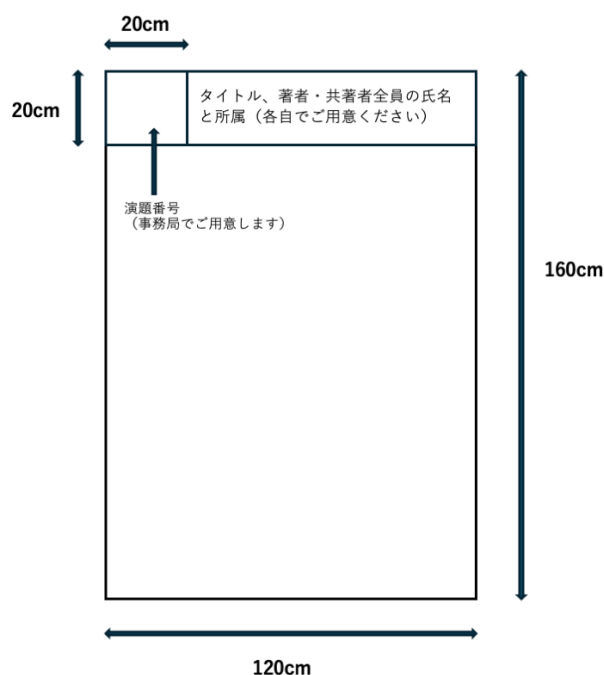
発表者間で議論・討論が出来るように、発表時間を以下の2つに分けます。発表時間には、必ず、ご自身のポスターの前でご発表をお願いします。

奇数番号：9時30分～10時00分

偶数番号：10時00分～10時30分

■パネルサイズ

ポスターを掲示するパネルのサイズは、幅 120cm、高さ 160cm です。このサイズ以内になるようにご用意ください。ポスターには、タイトル、著者、共著者全員の氏名と所属を記載してください。タイトルは抄録集と同じものを記載してください。



口頭発表・発表者へのご案内

■発表時間について

口頭発表は、第2日目（8月9日）の14時40分から15時55分まで、1階・シンポジウムスペースで実施します。各発表者の持ち時間は15分（発表12分、質疑応答3分）です。時間厳守をお願いします。

■会場の設備について

会場には、マイク、スクリーン、プロジェクターのご用意があります。ただし、パソコンは設置してありませんので、ご利用の場合にはご持参ください。

■持参パソコンとプロジェクターの接続について

会場では、パソコンとプロジェクターとの接続に「HDMI 接続」を採用しております。発表時の機材トラブルによる進行遅延を防ぐため、以下の点について事前にご確認とご準備をお願いいたします。

- ・ HDMI 出力端子の確認：ご持参いただくパソコンに標準サイズの HDMI 出力端子が搭載されているか、必ず事前にご確認ください。
- ・ 変換アダプターのご持参：HDMI 端子が搭載されていないパソコンをご使用の場合は、ご自身のパソコンに適合する変換アダプターを必ずご自身でご持参ください。

■スライドの事前の動作確認のお願い

セッション開始前の休憩時間等を利用し、各会場にて、実際に画面が正しく出力されるか事前接続テストを行っていただきますようご協力をお願いいたします。

大会参加申込

■参加申込手続き

大会に参加される方は、研究発表を行わない場合にも必ず事前に参加申込を行ってください。大会参加申込期限は 7月31日（金）18時、情報交換（懇親）会は 7月20日（月）18時 までです。参加申込が遅れる場合には、第24回大会事務局にご相談ください。

大会参加費・情報交換会（懇親会）費

	正会員	非会員	学生会員
大会参加費	4,000 円	4,500 円	2,000 円
懇親会費	6,000 円	6,000 円	5,500 円

■参加申込方法

以下の「2026年度 日本福祉心理学会第24回大会 参加申込用フォーム」（Google フォーム）よりお申し込みください。なお、ホームページからの申込が困難な場合には、第24回大会事務局にメール（janphs2026-group@keio.jp）でお問い合わせください。

- ・ Google フォーム（<https://forms.gle/KdJrUpuHLNeqaa9K7>）



- ・ 第24回大会事務局のメールアドレス（janphs2026-group@keio.jp）



■大会参加費の納付

以下の「ゆうちょ銀行振替口座」へ、大会までに振込を行ってください。

【振込先】

口座番号：00130-6-444284

加入者名：日本福祉心理学会

お問い合わせ先

■第 24 回大会に関する問い合わせ先

ご不明な点などがありましたら、メール（janphs2026-group@keio.jp）でお問い合わせください。



■日本福祉心理学会第 24 回大会実行委員会ホームページ

各種情報は、ホームページ（<https://psylab.hc.keio.ac.jp/academy/JANPHS/>）に掲載いたしますので、ご参照ください。



■当日の緊急連絡先

学会当日の緊急の連絡はメール（janphs2026-group@keio.jp）もしくは電話（045-566-1221；中野泰志研究室直通） でお願ひします。

以上